

## 1. 会議の概要

- 名称:  
The Optoelectronics and Communications Conference (OECC)  
The International Conference on Integrated Optics and Optical Fiber Communication (IOOC)
- 主催:  
・IEICE Communications Society, IEICE Electronics Society
- 共催機関:  
・IEEE COMSOC, IEEE LEOS, OSA, SPIE, The Institute of Electrical Engineers of Japan
- 開催場所:  
パシフィコ横浜, Japan
- 日時:  
9 - 13 Jul 2007
- 発表件数:
  - Oral: 274件
  - Poster: 110件
  - PD: 12件
- 歴史、スコープ:  
今年で12回目を向えたOECCは、毎年、アジア太平洋地域で開催されており、光通信システムやオプトエレクトロニクスに関する研究開発や応用をテーマとした国際会議である。主なトピックスは以下の通りである。
  - 1)光ネットワークとブロードバンド接続
  - 2)伝送システムとスイッチ技術
  - 3)光ファイバ、ケーブル、ファイバデバイス
  - 4)光能動デバイスとモジュール
  - 5)光受動デバイスとモジュール

## 2. 発表内容

- 小野 史晶 ( *Fumiaki Ono* )  
**Session:** Optical Modulation  
**Title:** Optical Frequency Comb Generation Using Semiconductor Optical Modulators  
**反響と感想:**  
7/13(金)にoptical modulationというセッションで15時15分～30分まで「Optical Frequency Comb Generation Using Semiconductor Optical Modulators」という題名でオーラルでの発表をしました。学会での発表は国内外問わず初めてなので発表するまでは大変緊張しました。ただセッション内では外国人の方の発表は1件しかなく、しかもNTTの方ということで聴講者がほとんど日本人ということもあり、それほど心配はしていませんでした。発表は12分の持ち時間のうち10分で終わってしまいました。事前は何回も練習していたおかげで特に詰まることもなく順調に進めることができましたと思います。質問は電圧耐力について、分散の影響について、線形ではない位相特性が与える影響についてでした。分散については考えてはいなかったので答えられませんでした。ほかの二つについては不十分であるにしろそれなりに答えることができました。今回の国際会議発表の感想として、やはり英語力の不足を実感したこと、自分とは違う観点からの質問を受けたことでより包括的な理解が必要であると感じました。今回は日本での開催でしたので国際会議に参加したという感覚はなかったので海外での国際会議に参加できるように頑張りたいと思います。

- 成田 優 ( Yu Narita )

**Title:** Novel 2x2 Photonic Switch Based on Multimode Interference Effect

**反響と感想:**

7/12(木)の12時半から、『Novel 2x2 Photonic Switch Based on Multimode Interference Effect』というタイトルでポスター発表を行いました。国際会議はCPTに続き2度目でしたが、前回より規模が大きく、外国人の方の割合も多かったので、非常に緊張しました。最初に話しかけて下さった外国人の方は、英語の発音に癖があることもあってか、何度も「Pardon?」と聞き返してしまい、申し訳ないのと同時に自分の英語力の無さを痛感致しました。また、私が発表した内容と同じ論文を以前見たことがあると言われ、今度その論文を送って下さるということでメールアドレスを教えたのですが、幸いそちらは現在も送られて来てはいません。その方の思い違いであることを祈るばかりです。

質疑応答に関しては、提案したスイッチの材料や構造・動作原理についてのものがほとんどでした。今回の国際会議では、企業の方や同じ学生という立場の人とも多く触れ合い、沢山の刺激を受けることができたので、この経験を今後の研究生活に役立てていければと思います。